

Q. 市長にとって「子育て」や「教育」は市政においてどの程度の位置付けなのでしょう？市長からこの分野について語られることがあまりないので、関心がないもしくは重要ではないと判断されているのではないかと感じています。

A. これまでの議会答弁でも「子育て・教育」が一番強く思いを込めて答えてきた分野です。これからも全国的に人口が減少傾向にあると思われませんが、移住促進などでは財政規模的に安芸高田市は他市に勝てません。これからは人口減少を前提にした施策を行うこと、安芸高田市の子どもへの投資を重点的に行っていく考えです。

Q. 「子育て応援券」が、実質予防接種にしか使えない。それも病院の会計ですぐに使用することができず、病院の領収証を持って市役所に行き、手続きをして後日口座へ振り込まれるという煩わしいことになっているので何とかしてほしい。

A. この問題は以前より把握しており、今後は子育て用品券の発行などを考えています。これから市民の皆様よりどのような形が利用しやすいかお伺いしながら、決めていきたいと思えます。

Q. 子どもの遊び場が欲しい。屋内施設、公園などをもっと増やして欲しい。動物のいる牧場のようなところでもよい。(東広島のカドーレなどは食べる場所もあるし、大勢の人で賑わってる。三次市の森のポッケなども。そちらは直売所やパン屋さん、レストラン、美術館もすぐ近く)

A. 多く聞くご意見で、今現在では田んぼアート予定地を活用したいと考えています。他市町のいいところを吸収し、他市町とは重複しないジャンルで整備できれば、近隣市町から遊びに来てもらえるものになると思えます。

Q. 町に小児科が無いので困っています。小児科救急も必要です。

A. #8000 (小児救急医療電話相談) で 19 時から翌 8 時まで看護師が相談に応じます。明らかな緊急を要する場合は、あらかじめ電話をしたうえで、県指定の三次中央病院・安佐市民病院・舟入病院で夜間救急の対応を受けることができます。

(一社) 広島県助産師会と連携して、以下のサポートを行います。

1	産前・産後サポート	訪問介護事業所のヘルパーを派遣し、産前と産後の家事援助、育児支援を行う
2	産後ケア(宿泊・通所)	助産院に宿泊または通所、助産師等が出産直後の母親の心身ケア、相談、指導

Q. 通学路の歩道工事。歩道がないです。

A. 様々な箇所でのお問い合わせをいただいておりますが、市道や県道、国道の道路管理者はバラバラであり、市役所では対応できない部分などあるのが実態です。市役所すぐやる課へご相談いただければ国及び県の道路管理者へお繋ぎしますので、まずはご相談ください。通学路に関しては、「通学路安全推進協議会」で市内各地の通学路の状況を共有しています。今後は優先順位を決めながら整備することとし、1 月から 3 月の間で基準を策定する予定です。

Q. 広島市や三次市など、十分に通勤圏内。ただ、わざわざ居住地として安芸高田市を選ぶ特色・インパクトがない。子育て、教育に関して、市政として力を入れる事で“いい環境”で子供を育てたい子育て世代を呼び込む事が出来るのではないかと個人的には思うのですが、市長のご意見を伺いたいです。

A. 安芸高田市の特色や強みを見つけ出していかななくてはなりません。小学校、中学校、高等学校が横につながり、教員レベルの向上、生徒の学力向上を目指すような一体的な特色・強みを生み出していける仕組みを整えるために検討します。

Q. 放課後児童クラブで、給食または弁当を提供して欲しいです。今保育所では毎日給食ですが、いずれ子供が小学生になると、夏休み、冬休み、春休み中の児童クラブは毎日お弁当持参になってしまうので、仕事が忙しい時期と重なってしまったら... と、今から気が重いです。多少、価格が高めでもいいので、導入を検討していただけないでしょうか。

A. 児童クラブの給食や弁当については、児童クラブが市内に点在していることや注文方法、そこへの配達にかかる費用など、コスト的に難しいと判断します。今後、そういったサービスに対応できる（注文アプリ、電子マネー決済など）民間事業者が出てきた場合は、市民の皆様へのニーズに合ったものになるよう検討します。

Q. 保育園によっては、連絡網が昔ながらの電話で行われています。保護者の名前と電話番号が書いてある紙が配布されていて、紛失した場合個人情報の流出になる。LINEなどで一斉送信した方が早いし、誰が見て誰が見てないかもわかる。職員さんの効率も保護者の負担も軽くなると思う。

A. 2月から連絡網アプリ「すぐーる」を使用できるよう準備しています。導入後は一つのアプリで、保育所、児童クラブ、小学校全てで利用できるようになります。

Q. 安芸高田市は今年から市内全ての小学校で外国語サポーターの導入を始め、子ども達は楽しみながら多くを学んでいるようです。外国語サポーターの導入をする事で、他文化に早い時期から触れ、英語の上達に繋げることが目的だと思いますが、更にこの事業を保育園や幼稚園での導入を考えていらっしゃいますか？

A. 5ラウンド（教科書を4～5回繰り返して学ぶ学習方法）など取り入れることで、小さなお子さんでも楽しく学習できるかもしれません。

Q. 安芸高田市には出産できる産婦人科が無くなりました。出産が出来る場所の確保はもちろんですが、妊娠中の健康維持のためのクラスや産後のエクササイズなどを充実させる事も安芸高田市で出産し、子育てしたいと思う動機の一つになるのではないのでしょうか。

A. (一社) 広島県助産師会と契約し、これまでのサポート体制に加え、産前から産後に至るまでのケアを拡充する予定です。しかしながら、エクササイズは現在メニューにありません。